

拡大委員会の報告

本年度大会運営の件を中心とする拡大委員会は六月二一日本郷学士会館で開かれ、次のような決定がなされた。

△「テーマ」会員の語氏から返事をいただいたアンケート(別項参照)を中心として検討した結果、(1)本年は自由テーマは募集しな

いで共通課題のみについて報告者を求める、(2)共通テーマについては、共同組織という点で生産的組織を中心とする、生産的的共同組織に焦点を置いて農家小組合、農民運動、共同化の動きなどをとりあげる、の二点を決められた。

共通課題に関しては、先号の小池提案、事務局報告をめぐって「組織を共同化にしほつた方がよい、広くすると討論がみあわない」という意見と、「狭くすると報告者、参加者が限定される」「視点は小池案、事務局報告ですてにせばめられている」「共同化の背景となつた過去の組織作りもとらえる必要がある」という意見の二つに分かれたが、結局は前記のように「生産的的共同組織に焦点を置いて」ということでほぼ共通の了解が得られたのである。

このように纏にそつて、報告者はなるべく公募によるが(締切りは九月一ぱい、その際簡単なレジюмеを添付する)、報告者の対象とする年代や地域が片寄らないように、事務局からもあらかじめ数人の依頼をしておくこととした。現在までのところ、慶応大学の小池グループ、東北大学の塚本グループより各々共同化を中心とする報告の申し出があつたが、これらの他、資本主義前夜、自由民権運動、地主制の転換期、産業組合などを中心とする報告者、サブリーダーの問題などに関連させて政治学関係の方、などに報告依頼をすることが話し合われた。

△日時・会場をなお大会は十一月一八、一九両日にほど確定されたが、会場については、泊込みという希望が強ければ東京では無理で周辺の御殿場、館山などの青年研修施設を利用してはどうか、という意見が出された。

◇住所変更 米村昭二 岡山大学教育学部
岡山市津島 岡山大学教育学部